

深川消防団ニュース



# さきもり

発行 深川消防団

所在地 〒135-0005  
東京都江東区木場  
3丁目18番地10号  
深川消防団本部

TEL:03-3642-0119  
FAX:03-3641-4422



平成17年度江東区内消防団合同点検 (点検官に関口消防総監をお迎えして)



深川消防団団長

唐鎌 五郎

## 発刊にあたり

新年明けましておめでとうございませう。深川消防団広報誌「さきもり」発刊にあたりご挨拶申し上げます。

日頃から消防団活動に対しましてご理解ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

団活動も近代都市の高層化にともない訓練内容も変化して参りました。町中では個人情報保護法等により、地域の様子がかみにくくなり、しかも本来の郷土愛精神も薄れつつある様に思われます。地域住民より信頼される消防団活動は地道な仕事ですが、いざという時に力を合わせ活動し住民の手となり足となり防災活動に邁進してこそ本来の消防団活動が発揮されるのではないのでしょうか。

また、近年の複雑多様化する各種災害の増加に伴い、消防団員の増員はもろろんですが、まず団員の家族一同が防災意識を身につけ町内の行事・訓練等にも積極的に参加し情報をつかみ我が町は「我が手で守る」をモットーに実践すれば、安全で安心して住める街づくりができるものと確信致します。

この広報誌により、団員・地域住民にとって防災に対する情報の提供が出来、親しまれるものになれば幸いに思います。



ご祝辞



深川消防署長  
高橋 智章様

新年あけましておめでとうございます。年始めに深川消防団念願の広報誌が発刊されますことは誠に喜ばしい限りであります。「生あるものは、節目のたびに成長する。」との譬えがありますが、歴史と伝統を継ぎ、なお飛躍し続ける深川消防団の事始めにうってつけの出来事と思っております。今後の広報誌の末長い継続と発展、そして深川消防団員の活躍とご家族ともどものご健康、ご多幸を祈念し、発刊に寄せるお祝いの言葉といたします。



東京都消防協会会長  
城東消防団団長  
木村 勉様

皆さまには、平成十八年の新春を健やかに迎えられましたことをお慶び申し上げます。このたびは、「深川さきもり」創刊おめでとうございます。江戸火消しの伝統を継ぐ、深川消防団らしいネーミングです。団員相互の意志の疎通を図って、唐鎌団長を中心に結束して地域住民の信頼に応えて下さい。消防一家という言葉があります。団が一つの大きな家族のような雰囲気があります。これを大事にしていきたいものです。深川消防団の益々のご発展をお祈りしてお祝いの言葉と致します。



深川消防団友の会相談役  
元深川消防団団長  
武藤 庄一様

新年あけましておめでとうございます。広報誌「さきもり」の発刊にあたり、ご挨拶を申し上げます。私も消防団を団員から団長まで四十年來団務に活動してまいりました。その経験から申しますと、先人の築いた消防活動に必要な知恵を活用し、現代の団活動をうまく融合させる事が大事であると思っております。その意味から申して、広報誌が広く団員、地元の方々に情報を提供して頂ければ幸いです。



深川消防団友の会理事代表  
前深川消防団団長  
永井 昭次様

謹賀新年  
深川消防団広報誌「深川さきもり」発行おめでとうございます。振り返れば、平成七年阪神淡路大震災・平成十三年テロ災害・国内外の風水害・昨年十月新潟中越地震災害、また将来、来るといわれている南関東を震源とする大地震、何ひとつとついても、消防団の皆様が、地域の防災リーダーとしてのその任務は誠に大きいものがあります。それには、まず健康と、防災知識の習得です。プロである消防署員の指導の元、消防団員ひとりひとりが、和と輪の精神を持ち一層技術力を高めることです。また、団員皆さんの努力で、ひとりでも多くの新入団員を募集していただき、地域の皆様に信頼と感謝を寄せられ、更なるご活躍とご発展をされますよう御祈念を申し上げます。御祝いの言葉といたします。

紹介

● 団本部 ●

- 団長 唐鎌 五郎
  - 副団長 岩崎 勝
  - 副団長 大塚 章吉
  - 副団長 宮内 保夫
  - 副団長 増茂 洋之進
  - 副団長 高橋 身宜
  - 副団長 早船 勇太郎
  - 以下 本団員十一名
- 消防団本部は、  
 ◎ 庶務係・消防団員の身分に関する事務を担当  
 ◎ 消防係・消防線法などの教育訓練を担当  
 ◎ 防災係・住民への防災指導や警戒等を担当  
 ◎ 経理係・会計経理事務などを担当  
 の四係からなっています。  
 今後とも、各分団員相互の連携充実に取り組み、実り多い消防団活動を目指してまいります。

● 第一分団 ●

- 分団長 佐藤 叔孝
- 分団員 二十六名
- 区域 猿江・住吉・毛利

第一分団は、毎月十九日を定期分団会議と定めており、作年からは分団会議前に、新団員の規律訓練も行っております。時には、応急救護資格者や専門知識を持つ団員から、ミニ講演を受け、家族・友人に伝達できるよう意識向上に努めています。また、災害がいつ発生しても対応出来るよう地元町会や消防署と連帯を強めて『自分達の住む街は自分達で守る』を合言葉に地域の防災リーダーとして、日夜予防・訓練に取り組んでおります。

● 第二分団 ●

- 分団長 小村 一利
- 分団員 二十七名
- 区域 扇橋・千石・石島・千田・海辺

八ヶ町で構成される第二分団には、個人の会費で運営されている「廿日会」(はつか会)という親睦会があります。基本的には月一回の分団本部での会議後に開かれ、お酒を親しみながら地域の情報交換をしたり、和気あいな大切な一時を過ごしています。幹事は班単位で任されており、練法大会の慰労会を兼ねた研修旅行なども若い団員の意見で企画されています。火災出場での団結力は「廿日会」から生まれています。



### ● 第三分団 ●

分団長 平山 敏博 団員二十八名  
区域 森下・高橋・新大橋・常盤

第三分団の担当地域は、深川発祥の地である深川神明宮の氏子地域にほぼ重なります。情緒溢れる下町風情に加え再開発等による大規模マンションが建ち並び、新旧入り混じった活気のある地域です。第三分団は積極的に団員の若返りを図り、地域との一体感と伝統を大切にしながら地域の方が安心して生活の出来る街を目指して活動していきます。消防練法大会においても優勝十一回他好成績を収めています。

### ● 第四分団 ●

分団長 宮坂 忠之 団員三十二名  
区域 三好・白河・平野・清澄

平成17年12月11日我が四分団の防災資機材格納庫(江東区三好四丁目)の運用開始式が、高橋署長、唐鎌団長、増茂副団長、平山三分団長、近隣の町会長を招き挙行されました。

これを機に分団長を中心に、団員が一丸となって益々消防団活動に励んでいきます。



### ● 第五分団 ●

分団長 行方 昭治郎 団員二十七名  
区域 深川一・佐賀・永代・福住・門前仲町一

「さきもり」創刊おめでとうございませう。武藤元団長、永井前団長、唐鎌現団長は五分団出身、我々五分団員として、先輩が築いていただいた伝統を守るべく、日夜消防団活動に精進しております。特に各研修、講習会には進んで参加し、定期検診には全員参加、又春秋の火災予防週間の広報活動や、消防練法「十七年度準優勝」練習により消防団のPRを実施、毎月5日の定例会にて意見や情報を得ております。

### ● 第六分団 ●

分団長 形屋 憲一 団員二十四名  
区域 深川二・門前仲町二・冬木・牡丹  
・越中島・古石場・富岡

わが第六分団には四名の女性団員がおります。普段はやさしいお姉さま、訓練・出場となればその精鋭ぶりを発揮、そしてアフター訓練になるとその精鋭が更に・・・(中略)

担当地区には、富岡八幡宮・深川不動尊があり、当分団は富岡八幡宮の初詣及び節分の特別警戒、そして八月の深川祭りでは神輿への放水で見物客の目を奪っております。又、地元小学校でのどじょうつかみ大会では操法演習を実施し次世代の団員候補にPR等多種に渡って日夜活動中です。

### ● 第七分団 ●

分団長 今井 一夫 団員二十八名  
区域 木場一・二・三・五・六・丁目

写真は洲崎神社弁天池の、かい掘り風景で、いつの頃からか、七分団奉仕活動の一貫として毎年行われています。池の水が底を尽き鯉・亀・雑魚がお出まし、子供達も手伝い誰もが童心に戻ります。さて、分団に冬を越え、春が来ましたこの誌発刊の頃には九名の仲間が入団し、充足率最下位分団から一挙上位ランクへ、想えば長い冬でした。



### ● 第八分団 ●

分団長 横山 春男 団員二十五名  
区域 東陽一丁目〜七丁目

深川第八分団は東陽一丁目から七丁目までを担当区域として日夜防火活動に勤めております。管内には江東区役所があります。昨年五月に行われました、深川消防団ポンプ操法大会では、連続六度目の優勝に輝きました。

優秀な選手と指導者があり、訓練も一生懸命に行っております。現在の課題は新入団員の入団促進です。



### ● 第九分団 ●

分団長 志村 光一 団員二十二名  
区域 塩浜・枝川・潮見

我ら九分団は、四方を海に囲まれた風情のある十七町会・自治会で構成された地域です。春・秋の火災予防時の訓練防災指導や夏の納涼会・神輿巡行の警戒・秋の台風警戒・広報活動・連合町会自治会に依る大運動会などの警戒等活動に際して一番気を付けている事は地域の人々の交流です。親しまれる消防団員として又、団員各自も活動自体を勉強しながら技術の向上とともに地域愛をもって自分達の町を守って行きます。

### ● 第十分団 ●

分団長 小安 勤 団員二十二名  
区域 豊洲・東雲・辰巳・有明・青海

第十分団は深川消防団の中で最も広い活動範囲を有しています。地域内には東京ビッグサイトなどの観光施設もあり、また、レインボープリッジを望む臨海部では東京湾大華火大会も開催されるなど、広く防火防災活動を行っています。

地域が、安全で安心できる住みよい街づくりを第一に考え、地域の防火防災の高揚を掲げています。





平成十七年中の表彰者の紹介

- 深川消防署長賞(救急活動功労)(二月)
第八分団 団員 岩間 紀樹様
日本消防協会会長表彰(精積章)(二月)
第三分団 副分団長 小幡 毅様
日本消防協会会長表彰(勤続章)(二月)
第二分団 副分団長 渡邊 美憲様
消防庁長官表彰(永年勤続功労賞)(三月)
第八分団 分団長 横山 春男様
瑞宝単光章(四月)
元第八分団 分団長 篠崎文一郎様
東京都消防協会功労章(四月)
第二分団 副分団長 渡邊 美憲様
第八分団 副分団長 川崎 重武様
東京都消防協会優良章(四月)
第一分団 班長 眞三様
第三分団 部長 山口 雅司様
第五分団 班長 篠原 秀男様
第六分団 班長 長南 正三様
第十分団 部長 篠原 昭雄様
東京都消防褒賞(十月)
第三分団 分団長 平山 敏博様
第四分団 副分団長 桑田 猛様
第七分団 副分団長 二宮 一雄様
瑞宝双光章(十一月)
前深川消防団 団長 永井 昭次様
江東区政功労者表彰受賞(十一月)
第九分団 分団長 志村 光一様

消防署の消防団指導者紹介

- 警防課
課長 沖田 治雄様
課長補佐・防災係長 日下部 博様
防災係主任(毎日) 菊池 幸夫様
主任(一部担当) 森下 安司様
主任(二部担当) 菅井 則行様
主任(三部担当) 小森 元様

※平成十七年中の主な活動等

- 一月・東京都消防協会「優良消防団表彰」を受賞
深川消防団始式を挙行
二月・消防署長・団長が江東区長に消防行政の概要を説明
節分祭に伴う消防特別警戒を実施
消防署で団員の宿泊体験実習を開始
女性消防団員会議を開催
救助器具の取扱と消防隊との連携訓練を実施
三月・春の火災防運動に伴う防災指導
消防団OBによる「深川消防団友の会」を発足
四月・自動対外式除細動器(AED)による救命講習を実施
五月・深川消防団消防操法大会を実施
六月・深川消防団幹部視察研修会を開催
(視察先/神奈川県総合防災センター等)
七月・上級救命再講習を実施
新入団員に対する教育訓練を実施
八月・大東京湾華火大会に伴う警戒を実施
富岡八幡宮例大祭に伴う警戒を実施
九月・消防団実績評価
十月・焼死者ゼロ五〇〇日達成表彰(方面本部長賞受賞)
東京消防庁震災演習に参加
江東区内消防団合同点検を実施(点検官に関口消防総監)
十一月・秋の火災予防運動に伴う防災指導
十二月・年末消防特別警戒(三十一日/初詣特別警戒)を実施

★2月9日(木)17:30 女性消防団会議

(場所/ビスタホテル)

★2月19日(日)9:30 体力錬成会(ボリング大会)

(場所/ドウ・スポーツプラザ晴海)



深川消防団員募集中!!

女性・勤務者・学生の方大歓迎

- 入団資格
・心身ともに健康で、十八歳以上の方
・消防団の区域内に居住、又は勤務の方
・問い合わせ
深川消防団本部(深川消防署内)
電話 〇三(三六四二)〇一一九

編集後記

深川消防団活性化委員会の答申に、団員の情報交換を活発にするため消防団機関誌の作成が盛り込まれており今回「広報誌さきもり」の発刊となりました。各分団より編集委員を募り、発刊にこぎ着ける事が出来ました。この広報誌が深川消防団のより良き活性化の一助になれば幸いに思っております。団員の皆さん、この広報誌に対する寄稿・情報提供を各編集委員にどしどしお寄せいただき団員の皆様と共に広報誌を制作して行きたいと思っております。

※誌名「さきもり」について

「防人」は、奈良時代の前後に北九州の要地の守備にあたった兵士、すなわち要地を守る人のことを言われたものですが、現代に置きかえ考えてみれば我々、消防団員も、火災・水災・震災等、多くの災害から地域の安全を守るために日々活動している訳です。云わば地域社会を災害から防ぐ「人々の集団」であります。この事から我々、消防団員は現代の災害の「防人」に近いのではないだろうか。そこで、この「防人」より「さきもり」として誌名としました。

※編集委員の紹介

- (団本部)
・副団長 岩崎 勝
・副団長 増茂 洋之進
・分団長 宮内 保夫
・部長 斉藤 博
(分団)
・第一分団 長谷川 祐二
・第二分団 鍛先 美彦
・第三分団 阿部 光城
・第四分団 皆川 義則
・第五分団 高橋 佳久
・第六分団 青柳 泉
・第七分団 樋口 博之
・第八分団 庄井 勤
・第九分団 佐藤 昌吉
・第十分団 金子 哲雄

広報誌名「さきもり」作成者 団本部・部長 斉藤 博
コーディネイター・レイアウト 作成者 第一分団団員 長谷川 祐二